

平成25年9月18日
独立行政法人水産総合研究センター
(参考情報)

9月上旬の大型クラゲ出現情報に基づく 大型クラゲの出現予測モデルの計算結果について

独立行政法人水産総合研究センターでは、大型クラゲの出現予測モデルを開発しています。これは、国際フェリー目視調査結果や調査船調査結果等を初期条件として水産総合研究センター等の海況予測モデル流況結果を用いて、我が国沿岸水域における大型クラゲの出現予測計算を行うものです。

9月上旬における津軽海峡周辺海域での大型クラゲの出現情報^{*1}を初期条件として、このモデルを用いて計算^{*2}したところ、津軽海峡を通過した大型クラゲの大部分は東方に運ばれた後、襟裳岬沖付近で南下し、9月下旬頃に岩手県～宮城県沿岸に出現することが予測されましたので、情報提供いたします。

なお、本予測モデルは大型クラゲの先端群がいつ日本周辺水域に出現するかを予測するものであり、このモデルで出現量を予測するものではありません。また、本予測モデルは、現在まで得られた気象等のデータに基づき計算されたものであり、今後の気象・海象条件により実際の確認時期と相違が生じる場合がありますので、実際の出現状況等については、各海域での出現情報^{*1}を御確認いただくようお願いします。

※1. 「大型クラゲ出現情報」 (漁業情報サービスセンター：<http://www.jafic.or.jp/kurage/>)

9月3日：青森県日本海側(深浦町)で初確認

9月9日：青森県太平洋側(六ヶ所村)で初確認

※2. 水産総合研究センターの海況予測システム(FRA-ROMS)及び気象庁の海洋大循環モデル(MOVE/MRI.COM)の流況結果を用いて計算

本件照会先(担当者)：

独立行政法人水産総合研究センター

研究推進部研究主幹 中田 TEL 045-227-2646

日本海区水産研究所資源環境部長 加藤 TEL 025-228-0587